

3 - 20 北武断層, 延命寺断層近傍の地殻歪について

Crustal Strain around the Kitatake Fault and Enmeiji Fault

地質調査所

Geological Survey of Japan

地質調査所では三浦半島を東西に横断する北武断層および房総半島の延命寺断層をまたぐ基線網の繰返し精密三角測量を実施している。

これらの基線網の位置, 図形等については既報¹⁾のとおりである。また, 1982年までの結果はすでに報告した²⁾。今回は1984年までの結果を報告する。

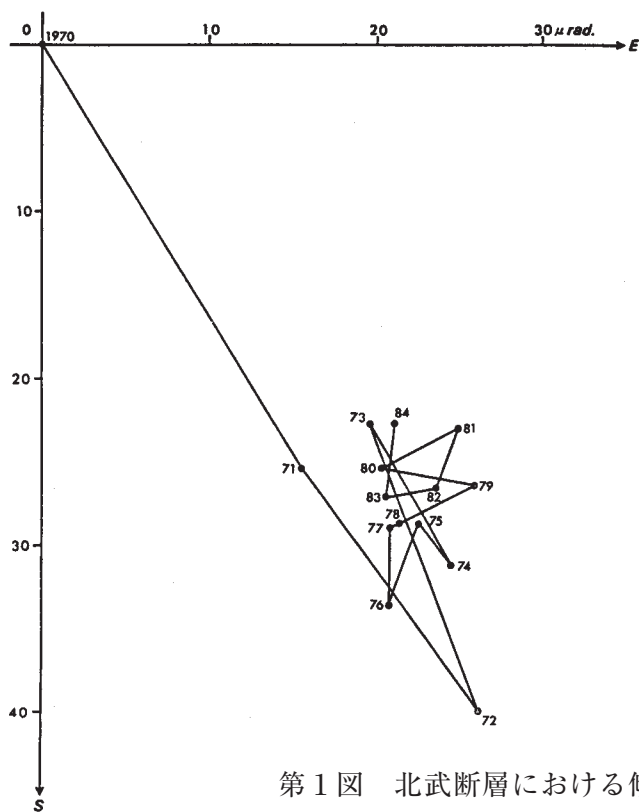
第1図に北武断層において、精密三角測量と同時に行っている水準測量の結果から求めた網全体の傾動ベクトルの推移を示す。解析はドライティルト法³⁾によった。図から明らかなように、最近の数年間には目立った変化は見うけられない。

第2図にそれぞれの断層をまたぐ基線網の繰返し精密三角測量の結果から求めた地殻歪を示す(歪の単位は μ strain)。この図においても、北武断層で面積歪が回復の傾向を示す他は、最近の数年間には目立った変化は見うけられない。

(衣笠善博)

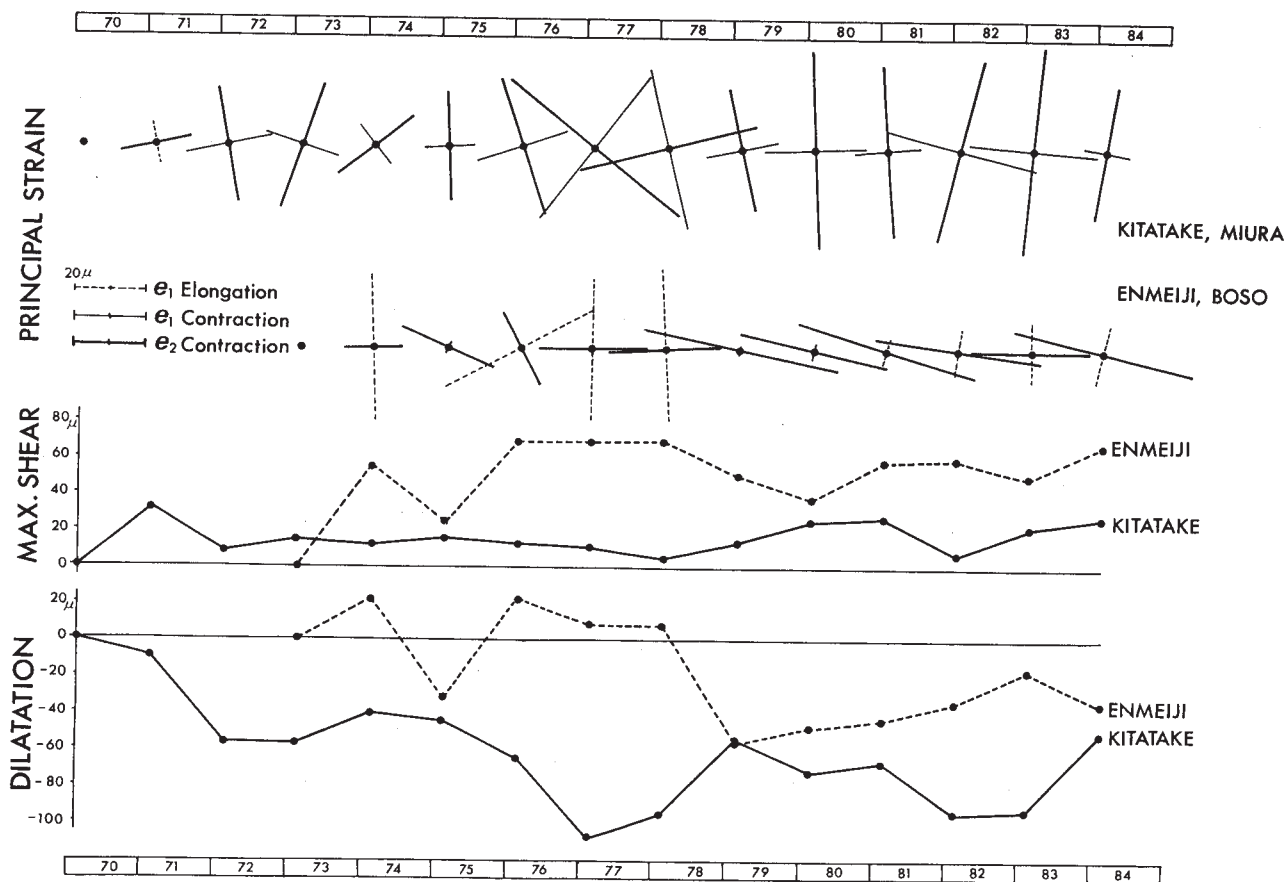
参 考 文 献

- 1) 地質調査所: 南関東の活断層近傍の地殻変動, 連絡会報, **9** (1973), 42 - 45.
- 2) 地質調査所: 三浦半島北武断層, 房総半島延命寺断層における地殻歪, 連絡会報, **29** (1983) 105 - 106.
- 3) 衣笠善博: 地殻変動観測のためのドライティルト法, 地質ニュース, No. **364** (1984), 印刷中.



第1図 北武断層における傾動ベクトル図 (単位は μrad)

Fig. 1 Vector diagram of descending tilt at the Kitatake fault (unit: micro-radian).



第2図 北武断層および延命寺断層における地殻歪 (単位は μstrain)

Fig. 2 Crustal strain versus time at the Kitatake fault and Enmeiji fault (unit: micro-strain).